

形名表示位置
電源電圧表示位置

ハンドドライヤー **ジェットタオル**®
形名

- JT-SB116LH-W (簡易ヒーター付)
- JT-SB116MN-W (ヒーターなし)
- JT-SB216LSH-W (簡易ヒーター付)
- JT-SB216MSN-W (ヒーターなし)

交流100V専用

交流100V専用

単相200V専用

単相200V専用

本体色 -W (ホワイト)

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保管してください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

「この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。」
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

この製品は手の乾燥を目的としたもので、手の乾燥以外の用途で使用された場合は保証対象外となります。また、この製品には、殺菌・消毒機能はありません。

1. 特長

- 「ヘルスエア機能」搭載循環ファン内蔵：空気中のウイルス・菌を抑制する機能
- 全面ウイルス抑制樹脂：本体に付着したウイルスを抑制する機能
- 二段ノズル構造：利用者への水滴飛散を抑制する機能

2. 安全のために必ず守ること

●図記号は次の通りです

	禁止		分解禁止		風呂・シャワー室での使用禁止		水かけ禁止		ぬれ手禁止		指示に従う
--	----	--	------	--	----------------	--	-------	--	-------	--	-------

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
	●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には据付けない 火災の原因になります		●浴室など湿気が多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない 感電の原因になります
	●塩害地域、腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所には据付けない 火災・感電の原因になります		●「ヘルスエア機能」ユニットの清掃の際は、必ず漏電しゃ断器を切る 感電の原因になります
	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、薬品をかけたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)		●交流100Vで使用する (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)
●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)	●単相200Vで使用する (JT-SB216LSH-W、JT-SB216MSN-W)		●間違った電源を使用すると、火災・感電の原因になります
●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因になります	●コンセントで使用する場合は、15A以上で単独とする (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)		●電源が専用配線の場合は単独配線とする 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります
	●据付け位置を移動する場合はお買い上げの販売店、または工事店にて実施する けがの原因になります		●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く 火災の原因になります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)
	●水をかけない 感電の原因になります		

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または
家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ぶらさがらない 製品の落下や破損のおそれがあります 手の乾燥以外に使用しない 不適切な用途で使われますと、事故の原因になります 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際はゴム手袋を着用する 着用しないとけがをするおそれがあります メンテナンスパネル、ドレンタンク、エアフィルター、側面カバーを必ず本体に取付けて使用する 本体に水が入ると、漏電・感電のおそれがあります 異常がある場合は、電源スイッチを押して電源を「切」にし、電源プラグを抜いてください。(専用配線の場合は電源スイッチを押して電源を「切」にし、漏電しゃ断器を切ってください) その後にお買上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。 感電や漏電、ショートなどによる火災のおそれがあります
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電のおそれがあります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W) 		
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火するおそれがあります (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W) 		

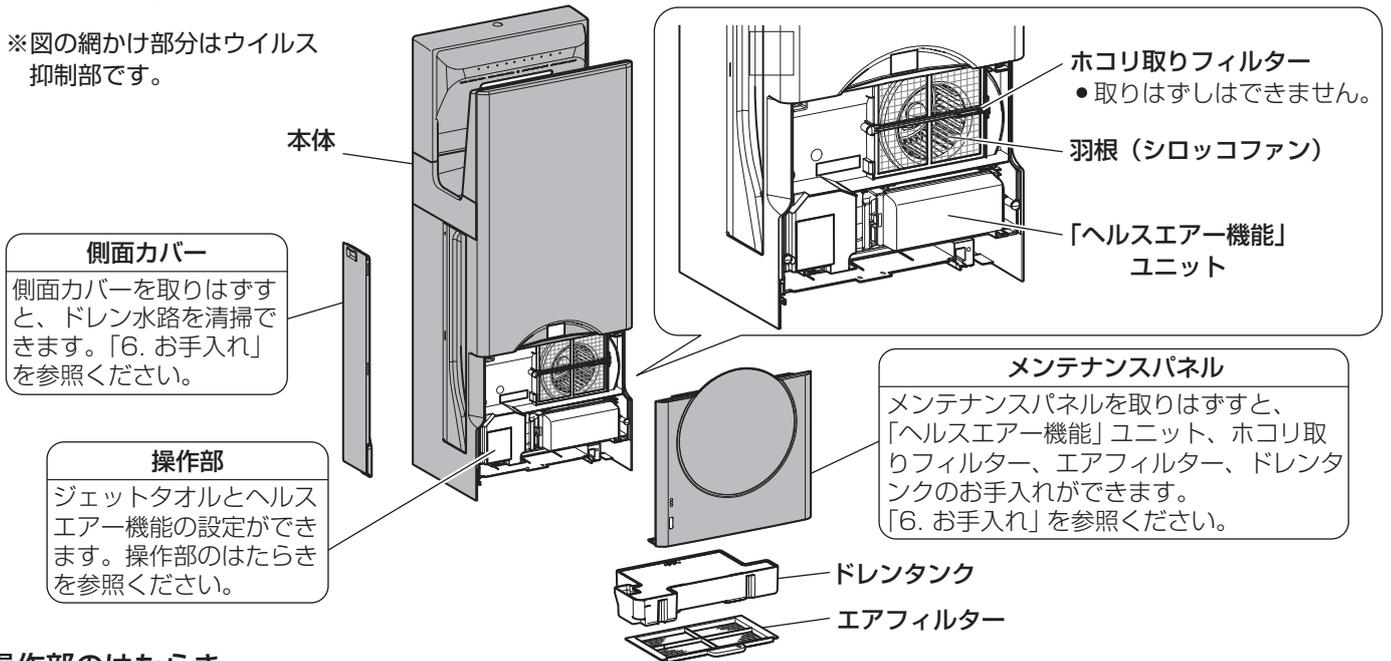
お願い 次のような場所では使用しないでください。

- ・屋外 ・0℃未満になる場所 ・40℃以上になる場所
- ・ほこりの多い場所 ・結露する場所 ・塩害地域
- ・日光、強い光が当たる場所
(センサーが誤作動するおそれがあります)
- ・乗りもの(船舶・航空機を含む)
- ・腐食性ガス、中性ガス、還元性ガスの存在する場所
- ・食材、食器等の近く ・厨房 ・直接水がかかる場所
- ・消毒槽のある部屋、プール、浴室
- ・床が常時濡れている場所
- ・湿度95%以上になる場所 ・湿度が常時60%を超える場所

- ・厚生労働省のHPに掲載されている「正しい手の洗い方」を行うよう周知してください。
- ・手に薬品などがついたまま使用しないでください。
(製品表面に傷つきや変色、割れが発生するおそれがあります)
- ・製品についた洗剤や薬品は、残らないように拭き取ってください。
また、指定外の洗剤は使用しないでください。
(拭き残しがあると製品表面に傷つきや変色、割れが発生するおそれがあります) 洗剤に関しては「6. お手入れ」を参照してください。
- ・水を製品内部に吸い込んだ場合には、機器の故障や吸音材が吸湿し菌が繁殖する可能性がありますので、エアフィルターおよび吸気口付近に水を付着させないでください。

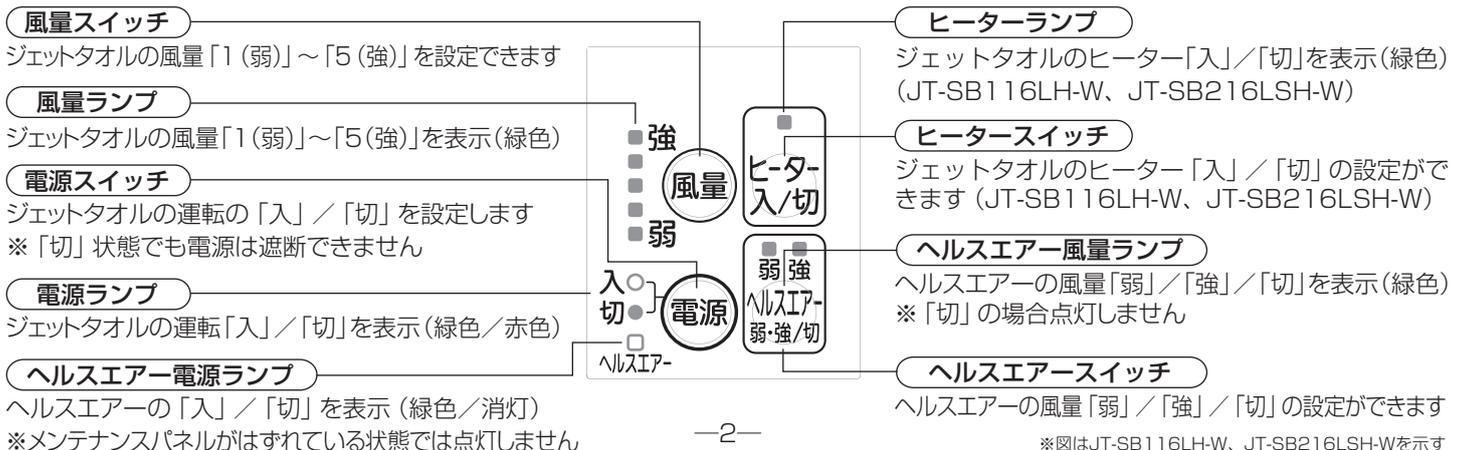
3. 各部のなまえ

※図の網かけ部分はウイルス抑制部です。



■ 操作部のはたらき

メモ ・電源ランプの運転「入」とヘルスエアー電源ランプの「入」は高輝度ランプを採用しており、他のランプより明るく見えます



4. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)
- ジェットタオルの据付工事は、販売店または工事店が据付工事説明書に基づき実施しております。販売店が試運転を行う際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店から説明を受けてください。

5. 使いかた

1. 電源の入れかた

- ①コンセントを接続する。
専用配線の場合は、ブレーカーを「入」にしてください。
- ②メンテナンスパネルを取りはずす。
- ③電源スイッチ **電源** を押して、電源ランプ (緑色) を点灯させる。

お願い • 手挿入部に手や物を入れたまま電源スイッチを入れないでください。手挿入部に手や物を入れたまま電源スイッチを入れると、センサーの感度が悪くなるおそれがあります。

2. 簡易ヒーターの入れかた

ヒータースイッチ **ヒーター入/切** を押して、ヒーターランプ (緑色) を点灯させる。

「切」に設定するとヒーターランプ (緑色) が消灯します。

お知らせ 室温が約30℃以上の場合、温風温度が高くなりやけどのおそれがあるため、ヒーターは動作しません。また約20℃以下では温風感が損なわれます。

3. ジェットタオルの風量設定のしかた

風量スイッチ **風量** を押して、お好みの風量に設定する。

メモ • 風量の設定は5段階で風量ランプの数で風量1~5を表示します。

4. ヘルスエアーの風量設定のしかた

ヘルスエアースイッチ **弱/強** を押して、お好みの風量に設定する。

- メモ**
- 「弱/強」に設定すると、上部のヘルスエアー風量ランプ (緑色) が点灯します。
 - 「切」に設定するとヘルスエアー風量ランプ (緑色) は「弱」/「強」ともに消灯します。
 - スイッチを押すと、「弱」⇒「強」⇒「切」の順に運転状態が切り替わります。

メモ

- 省エネのために、風量ランプ、ヒーターランプ、ヘルスエアー風量ランプはスイッチ操作の10秒後に消灯します。
- 風量スイッチ、ヒータースイッチ、ヘルスエアースイッチのいずれかを押すと、設定中の状態でランプが再点灯します。

お知らせ

- いたずら防止のために約30秒間連続して使用すると自動的に運転を停止します。(電源ランプ (緑色) が点滅してお知らせ) 続けて使用する場合は、いったん手を引き抜いて再度手を入れてください。
- 再度手を入れても運転しない場合は、以下の操作を行ってください。
 1. 「7. 「故障かな？」と思ったら」を確認
 2. 電源スイッチを押して、電源を「切」にする。
電源ランプ (赤色) が点灯しているのを確認してください。(「切」状態でも通電は遮断できません)
 3. 10秒経過後、電源スイッチを押して、電源を「入」にする。それでも点滅を続ける場合は、漏電しゃ断器を切って (または電源プラグを抜いて)、お買い上げの販売店へご連絡ください。

お願い

- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜くか、漏電しゃ断器を切ってください。

■手洗い後の手の乾かしかた



両手を開いて **横から奥まで** 手を入れる。
自動的に運転を開始します。



ゆっくり引き抜き、
風で水を吹き飛ばす。



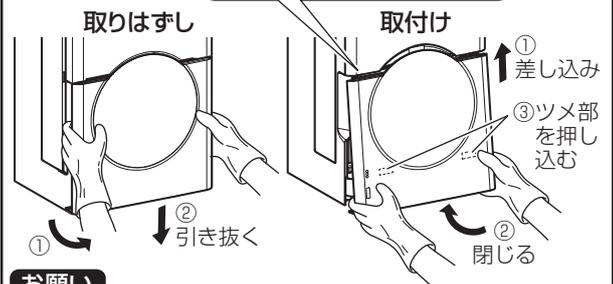
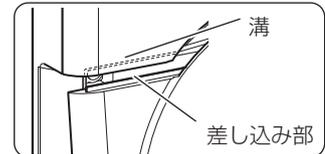
指先まで引き抜く。

メモ

- 厚生労働省のHPに掲載されている「正しい手の洗い方」を行うよう周知してください。
- ジェットタオルは本体の両側が開放されているので、横から自然に手を入れることができます。横から手を入れ、上へ引き出す動作を2~3回繰り返すと水滴が逆戻りすることなく乾かすことができます。

メンテナンスパネルの取りはずし、取付け

- **メンテナンスパネルの取りはずし**
メンテナンスパネルの両端を持って手前に少し開き、下方に引き抜いてください。
- **メンテナンスパネルの取付け**
メンテナンスパネルの下部の両端を持って上面の差し込み部を本体の溝に差し込み、下部を閉じるようにして本体に取付けてください。



お願い

- メンテナンスパネルを取りはずしたり取付けたりするときは、メンテナンスパネルから手を離さないでください。(メンテナンスパネルが落下し破損するおそれがあります)
- ツメがはずれた状態から、無理にメンテナンスパネルをはずさないでください。(メンテナンスパネルが破損します)
- メンテナンスパネルを取付けるときは、ツメ2か所と上面の差し込み部が確実に本体にはまっているか、確認してください。(ツメがはまってないと本体とメンテナンスパネルにすき間ができます)
- メンテナンスパネルが確実ににはまっていないと、「ヘルスエアー機能」搭載循環ファンの電源が入りません。

6. お手入れ

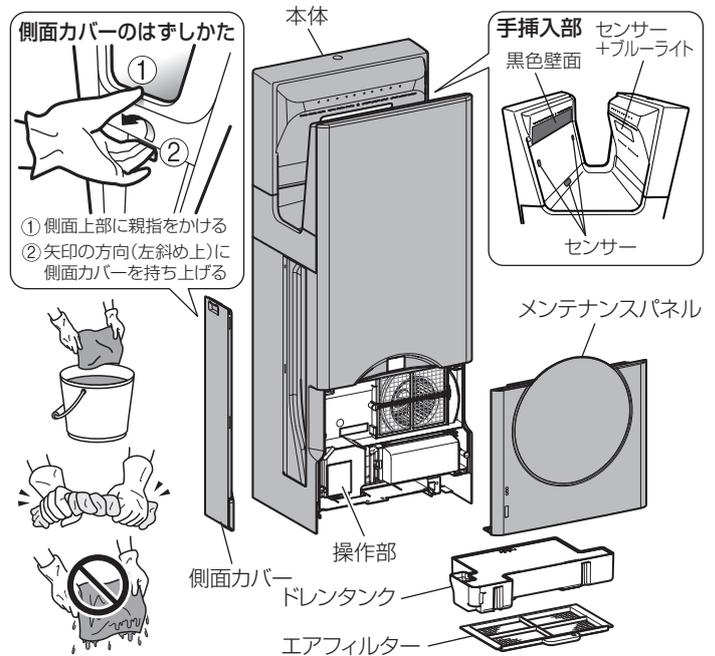
お願い

- 製品の清掃には中性洗剤を使用してください。
(植物系洗剤はプラスチックを傷めるおそれがあるため使用しないでください)
- 本体外装はアルコールでの拭き清掃ができます。アルコールが残らないように拭き取ってください。
(拭き残しがあると製品表面に傷つきや変色、割れが発生するおそれがあります)
※アルコールとは、日本薬局方消毒用エタノール(濃度76.9~81.4%)を指します。
※アルコールでの拭き清掃後は必ずドレンタンクに溜まったアルコールを捨ててください。
※アルコールを直接製品にかけないでください。
- シンナー・ベンジン等の溶剤ならびに酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、カビ取り洗剤、柑橘系等の植物系洗剤は使用しないでください。またナイロントワシ、研磨剤は使用しないでください。
(製品表面に傷つきや変色、割れが発生するおそれがあります)
- 化学ぞうきんのご使用は、その注意書きに従ってください。
- 消毒液は製品を傷めます。
- ホコリ取りフィルター、エアフィルターにほこりが付着したままにすると、性能低下や異常音発生の原因になります。1週間に1回(推奨)を目安として、ホコリ取りフィルター、エアフィルターを清掃してください。
- 「ヘルスエア機能」ユニットにほこりが付着したままにすると、性能低下の原因になります。2か月に1回(推奨)を目安として、「ヘルスエア機能」ユニットを清掃してください。
- お手入れ後、本体の電源を「入」にするときに手挿入部に手を入れたままや、手挿入部に異物が入ったまま電源スイッチを押して「入」にすると、センサーの感度を悪くするおそれがありますので、ご注意ください。(センサーの感度が悪くなったときは、いったん電源スイッチを押して「切」にして、10秒後、再度、電源スイッチを押して「入」にしてください)



本体外装・手挿入部・ドレン水路の清掃 1日に1回(推奨)

1. メンテナンスパネルを取りはずし、電源スイッチを押して「切」にする
2. 本体外装、メンテナンスパネルの内側、手挿入部をかたくしぼった布で拭く
 - 汚れがひどい場合は中性洗剤を浸した布を使用し、その後、中性洗剤をしっかりと除去し、乾いた布でよく拭き取る。
 - 水分が多量に残った布で拭くと製品内部に水が浸入するおそれがありますので、必ずかたくしぼった布で拭いてください。
 - センサー部分の汚れを取り除く。
※手挿入部内の黒色壁面部分が白く汚れていると、センサーの感度が悪くなり、誤動作することがあります。1日に1回(推奨)、清掃してください。
3. 側面カバーを取りはずして、側面カバーの内側とドレン水路をかたくしぼった布で拭く
 - 側面カバーは取っ手部に指をかけて、側面カバーを斜め上に引き上げてははずす。
 - 側面カバーをはずすときにドレン水路に残ったドレン水の滴下に注意する。
 - ドレン回収口の汚れは柔らかい布でいねいに拭き取ってください。
※ドレン水路に直接水をかけないでください。
4. 側面カバーを元どおり取付ける
 - 確実に取付けられているか確認する。
5. 電源スイッチを押して「入」にし、メンテナンスパネルを元どおり取付ける

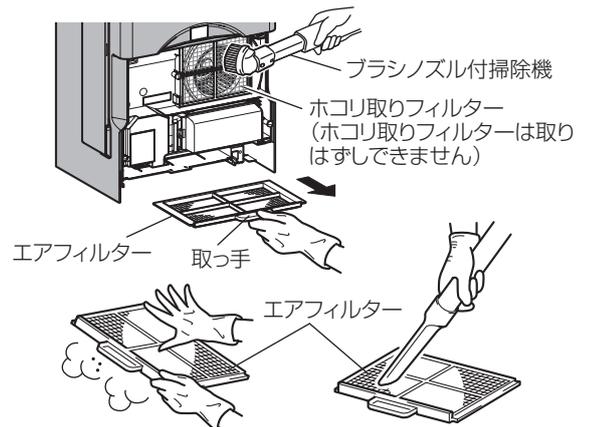


お願い

- ウイルス抑制部(上図の網掛け部)は、ウイルスが付着したときにウイルス抑制効果を発揮します。
- ウイルス抑制部に汚れがあるとウイルス抑制効果が発揮できませんので、1日に1回(推奨)の清掃を実施ください。
- 本体外装隙間に入り込んだ水は、時間が経過すると黄色く変色することがあります。歯ブラシ等で清掃してください。

エアフィルター・ホコリ取りフィルターの清掃 1週間に1回(推奨)

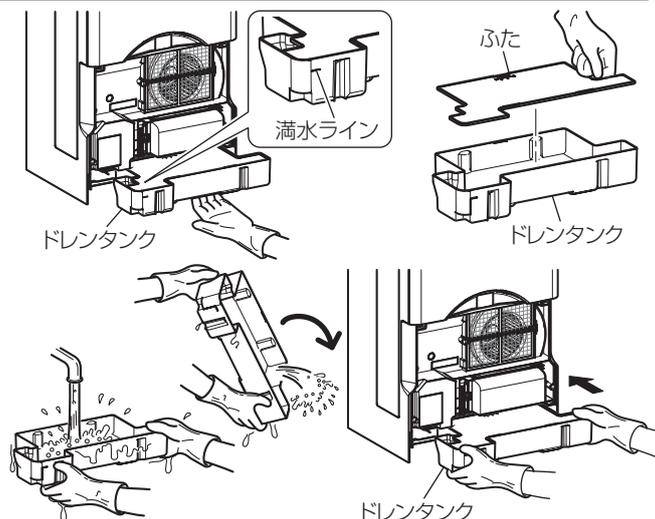
1. メンテナンスパネルを取りはずし、エアフィルターを取りはずして汚れを取る
 - エアフィルターの取っ手を引いて取りはずす。
 - 軽く手でたたか、掃除機でほこりを吸い取る。
 - 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か水で汚れを落とす。
2. エアフィルターを元どおり取付ける
 - 本体の奥の突き当たりまで押し込む。
(エアフィルターがはずれていると、ゴミ、ほこりが本体内に侵入し、製品寿命が短くなることがあります)
3. ホコリ取りフィルターの汚れを取る
 - ブラシノズルを取付けた掃除機でほこりを吸い取る。
4. メンテナンスパネルを元どおり取付ける



ドレンタンクの排水 満水になる前に（1日に1回（推奨））

- 手から吹き飛ばした水のことを「ドレン」といいます。
- ドレンがドレンタンクの満水ラインを越えないように1日に1回（推奨）捨ててください。
- ドレンタンクの満水は約0.6Lです。
- ドレンをためたままにしておくと、臭いの原因や、たまった水が床にたれて、床が汚れるおそれがあります。

1. メンテナンスパネルを取りはずし、ドレンタンクを水平に引き出す
 - 水がこぼれないように水平に運ぶ。
2. ふたを開けてドレンを捨てる
3. ドレンタンクとふたを洗い、水をよく拭き取る
ドレンタンクにふたをして、元どおり本体に取付ける
 - ドレンタンクのふたは3か所のツメに合わせてパチンと音がするまで押してください。
 - 本体奥まで確実に取付ける。
4. メンテナンスパネルを元どおり取付ける



「ヘルスエア機能」ユニットの清掃 2か月に1回（推奨）

1. 漏電しゃ断器を切る
2. メンテナンスパネルを取りはずし、「ヘルスエア機能」ユニットを取りはずす
 - 「ヘルスエア機能」ユニットの取っ手部に指を引掛け、本体から引き抜く。
3. 「ヘルスエア機能」ユニットから脱臭フィルターを取り出す
 - 「ヘルスエア機能」ユニットから脱臭フィルターカバーをずらして取りはずし、中から脱臭フィルターを取り出す。

お願い

- 脱臭フィルターカバーを分解しないでください。（部品の変形や破損の原因になります）

4. 「ヘルスエア機能」ユニット、脱臭フィルターカバーの汚れを水またはぬるま湯で洗い流す

- 洗い流した後は、乾いた布で表面の水 droplets を拭き取り、陰干しで十分に乾燥させる。

お願い

- 「ヘルスエア機能」ユニット内部に綿棒やブラシなどを差し込まないでください。（ユニット内部の電極ワイヤーを切る原因になります）
- 電極ワイヤーが切れてしまったときは交換が必要です。販売店または工事店へ連絡してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸け置きしてください。その後、水またはぬるま湯で洗い流してください。
- ドライヤーなどの温風で乾かさないでください。（部品の変形や破損の原因になります）

5. 脱臭フィルターの汚れを水で洗い流したあと、さらに30分間、水に浸ける（時間は目安です。汚れの程度により調整してください）

お願い

- 水以外（お湯や洗剤）は絶対に使用しないでください。（脱臭性能が低下する原因になります）
- 脱臭フィルターはブラシや高圧洗浄機などで洗わないでください。（脱臭性能が低下する原因になります）
- 脱臭フィルターは落下などにより破損するおそれがありますので、取り扱いにはご注意ください。

メモ

- 強いにおいのある環境でお使いになると、脱臭フィルターににおいが付着し、数週間から数か月でにおいが発生する場合があります。お手入れ頻度にかかわらず、こまめにお手入れしていただくことで、においの発生をおさえることができます。

6. 脱臭フィルターを陰干しで十分に乾燥させる

お願い

- 乾燥が不十分だと、脱臭フィルターからにおいが発生します。十分乾燥した上で使用してください。
- ドライヤーなどの温風で乾かさないでください。（部品の変形や破損の原因になります）

7. 「ヘルスエア機能」ユニットに脱臭フィルター、脱臭フィルターカバーを取付け、本体に元どおり取付ける

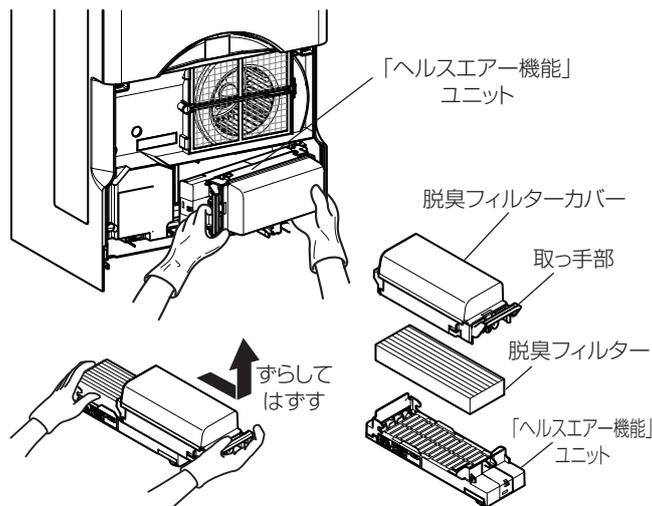
8. メンテナンスパネルを元どおり取付ける

警告



指示に従う

- 「ヘルスエア機能」ユニットの清掃の際は、必ず漏電しゃ断器を切る感電の原因になります



水またはぬるま湯



脱臭フィルターカバー

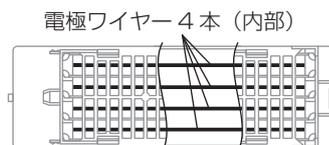
水またはぬるま湯



「ヘルスエア機能」ユニット



脱臭フィルター



電極ワイヤー 4本（内部）

正常な電極ワイヤー状態

清掃で脱臭性能が回復しない場合

- 脱臭フィルターの交換が必要です。別売の「ヘルスエア機能」搭載循環ファン専用交換用脱臭フィルター（P-10KDF）をお買い求めの上、交換してください。（脱臭フィルターの交換目安は5年です）

7. 「故障かな？」と思ったら

● 次のような症状があれば点検してください。点検、処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、使用を中止して漏電しゃ断器を切り、電源プラグ(JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W)を抜いてから、お買い上げの販売店または、工事店にご連絡ください。

項目	こんなとき	点 検	処 置
ジェットタオル機能	手を入れても風が出ない	電源ランプは緑色に点灯していますか？ 停電ではありませんか？	● 漏電しゃ断器を「入」にします。 ● コンセントにプラグを差し込みます。 (JT-SB116LH-W、JT-SB116MN-W) ● 電源スイッチを押して、電源を「入」にします。
		手の入れ方が不十分ではありませんか？	手挿入部の奥まで入れ直します。
		手挿入部に手を入れたまま電源スイッチを押して、電源を「入」にしていますか？	電源スイッチを押して、電源を「切」にしてから、異物や汚れを取り除き、再度、電源スイッチを押して、電源を「入」にします。
		センサーに異物や汚れが付いていませんか？	電源を「入」にした後、2秒以上経過してから手を挿入してください。
	風が止まらない	手挿入部の黒色壁面が白く汚れていませんか？	電源を「入」にした後、2秒以上経過してから手を挿入してください。
	風が冷たい 温風にならない (JT-SB116LH-W、 JT-SB216LSH-W)	ヒーターランプが緑色に点灯していますか？	ヒータースイッチを押して、ヒーターを「入」にします。
室温が低くありませんか？		本製品は簡易ヒーターを内蔵していますが、室温が約20℃以下では温風感が損なわれます。	
室温が高くありませんか？		室温が約30℃以上の場合や連続で使用すると、ヒーターは動作しません。	
風量ランプが点滅している	電源に異常があると風量ランプが点滅することがあります。	電源スイッチを押して、電源を「切」にして、10秒経過後に再度、電源スイッチを押して、電源を「入」にします。	
焦げ臭いにおいがする	故障です。運転を停止してください。	販売店または工事店へ連絡してください。	
ヘルスエアー機能	羽根が回転しない	ヘルスエアー風量ランプが緑色に点灯していますか？ メンテナンスパネルが確実に本体にはまっていますか？	ヘルスエアースイッチを押してヘルスエアーを「弱」または「強」にします。 メンテナンスパネルを取付け直します。 「5. 使いかた (3ページ)」を参照してください。
	運転中に異常音や振動がする	本体にメンテナンスパネル、「ヘルスエアー機能」ユニットが確実に取付けられていますか？	メンテナンスパネル、「ヘルスエアー機能」ユニットを取付け直します。「5. 使いかた (3ページ)」を参照してください。
		メンテナンスパネル、ホコリ取りフィルター、「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり、異物が付着していませんか？	メンテナンスパネル、ホコリ取りフィルター、「ヘルスエアー機能」ユニットを清掃してください。「6. お手入れ (4～5ページ)」を参照してください。
	ヘルスエアー電源ランプが点滅している	加湿器や湯気を発生するものが近くにありませんか？	加湿器や湯気を発生するものを本製品から遠ざけてください。
		「ヘルスエアー機能」ユニットにほこり・異物が付着している可能性があります。 (目に見えないような粒子が付着している場合もあります)	「ヘルスエアー機能」ユニットを清掃してください。「6. お手入れ (4～5ページ)」を参照してください。
「ヘルスエアー機能」ユニットから異臭がする	脱臭フィルターににおい成分が付着しています。	脱臭フィルターを清掃してください。「6. お手入れ (5ページ)」を参照してください。	
	脱臭フィルターはぬれているとにおいがします。	異常ではありません。脱臭フィルターを十分乾燥させてから使用してください。	
「ヘルスエアー機能」ユニットの金属板に模様がついている	放電による表面変化のため問題はありません。	異常ではありません。 そのままご使用いただけます。	
共通	電源ランプ、風量ランプ、ヒーターランプ、ヘルスエアー風量ランプが点灯しない	電源スイッチが「入」になっていますか？ スイッチ操作をしてから10秒以上経っていませんか？	省エネのため、風量ランプ、ヒーターランプ、ヘルスエアー風量ランプは、操作の10秒後に消灯します。風量スイッチ、ヒータースイッチ、ヘルスエアー風量スイッチのいずれかを押すと、設定した状態でランプが再点灯します。

■消耗部品の寿命について

- ヒーターの寿命は、風量スイッチ「強」の概算で1日の使用回数600回で7年が目安です。(JT-SB116LH-W、JT-SB216LSH-W)
- モーター(「ヘルスエアー機能」搭載循環ファン用)の寿命は、ヘルスエアー風量「強」の概算で24時間365日運転で6年が目安です。
- 脱臭フィルターの寿命は、2か月に1回のお手入れの概算で5年が目安です。

8. 保証とアフターサービス

■保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのおと、大切に保存してください。

保証期間
お買上げ日から1年間です

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この三菱ハンドドライヤー「ジェットタオル」の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- ※長年ご使用いただくためにはハンドドライヤーのメンテナンスが必要です。モーター（「ヘルスエアー機能」搭載循環ファン用）、ヒーター、脱臭フィルターは消耗部品です。「■消耗部品の寿命について（P.6）」参照

■修理を依頼されるときは

- 「7.「故障かな?」と思ったら」にしたがってご確認ください。
- なお、不具合があるときは、必ず漏電しゃ断器を切って(または電源プラグを抜いて)から、お買上げの販売店にご連絡ください。
- ※モータ（「ヘルスエアー機能」搭載循環ファン用）、ヒーター、脱臭フィルターは消耗部品です。

●保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は

- 技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…お客様のご要望により、製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱ハンドドライヤー「ジェットタオル」
2. 形名 JT-○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

形名は形名表示位置(本体右側面)でご確認いただけます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

- お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**各窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- 三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
- 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
 - 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
 - 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ②法令等の定める規定に基づく場合。
 - 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

フリーダイヤル いつもサンキュー 365日
0120-139-365 (無料)
 ■ご相談対応 平日 9:00~19:00
 土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00
上記以外の時間は受付のみ可能です。
 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-077-365 (有料)

FAX 0570-088-365 (有料)

フリーダイヤル・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は
 TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル いつもサンキュー 365日
0120-56-8634 (無料)
 パソコン・スマートフォン **www.melsc.co.jp**
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合

TEL 0570-01-8634 (有料)

FAX 0570-03-8634 (有料)

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

9. 仕様

形名		電圧	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	電流 (A)	ドレンタンク容量 (ℓ)	質量 (kg)	外形寸法 (幅×奥行×高さ)
JT-SB116LH-W	簡易ヒーター	交流 100V	50-60	1140	12.3	0.6	12	300×219×755 (mm)
JT-SB116MN-W	—			640	8.1			
JT-SB216LSH-W	簡易ヒーター	单相 200V		1110	6.1			
JT-SB216MSN-W	—			610	4.0			

※上記値はジェットタオル風量「強」、ヘルスエアー風量「強」の場合を示す。

■モード別の乾燥時間（目安）と用途の関係

モード	乾燥時間（目安）		騒音	用途
	JT-SB116LH-W JT-SB216LSH-W	JT-SB116MN-W JT-SB216MSN-W		
強	約3～5秒	約4～6秒	約57dB	早く乾かしたいとき
中	約5～7秒	約6～8秒	約55dB	スピード乾燥と低騒音を両立させたいとき
弱	約9～15秒	約17～23秒	約48dB	運転時の騒音を低く抑えたいとき

※乾燥時間は当社測定方法による（片手の残水量150mg時）

※無響室で2m離れた位置での測定。

愛情点検 	☆長年ご使用のハンドドライヤーの点検を！		使用中止
ご使用の際 このようなことは ありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> ●風が止まらない ●風の出方が不規則 ●焼けたような臭いがする 	<ul style="list-style-type: none"> ●漏電しゃ断器が作動する ●運転中に異常音や振動音がする ●その他の異常・故障がある 	

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。	形名			
	お買上げ年月日	年	月	日
	お買上げ店名 (住所) (電話番号)	() _____		

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。材質名は主材料にISO規定の略号を使用。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は再生紙を使用しています